



懇親会のあと、日付けが変わるまで飲み明かした

佐伯支部

平成30年2月14日（水）佐伯市内の「割烹寿し料理 第三金波」で、四極会佐伯支部の平成29年度総会を開催した。本部か

ら柴田常務理事に御出席（2年連続）いただき、参加人数は16名（昨年20名）であった。

まず、西谷支部長が冒頭に「支部会員同士のこういう集まりは1年ぶり。参加人数が減り寂しくもあるが、また一年後に皆さんと元気にお会いしたい。創立100周年の件は、柴田常務理事が述べるので私の挨拶は手短に！」と挨拶。

続いて、柴田常務理事が『母校創立100周年』、『経済学部の歴史』の2種類のパンフレットを配付し、挨拶を行つた。

「佐伯支部総会に2年連続で参加することができ嬉しい限り。大学は4年後には100周年を迎える。それに備え設置された4つの小実行委員会等で協議を重ね、今年7月には成案がまとまる見込み。これまで実施

「4年後には百周年」を実感

してきました80、90周年とは意味合が違う100年に一度の機会であり、明確なテーマを掲げ大規模なものとなるだろう。今後は各支部に対して説明・協力依頼等がなされると思うがご理解・ご協力を願いたい。」と。また、「同窓会員については、旦野原世代が7割弱となり、若返りが進んでいる。近年は女性会員も増加しており、多方面での活躍が見受けられる。一方、名前の由来を知らない若い同窓会員が多い。この歴史等を知つてもらうため、パンフレットを作成した。」とも述べられた。

柴田常務理事の挨拶から、開学100周年がいよいよ4年後に迫っていることを実感させられた。長くも短くも4年、4年後の佐伯支部はどうなつていることやら…

その後、約2時間の懇親会に突入し、大いに盛り上がつた。更に、一部の会員は二次会、三次会そして四次会と佐伯の新町（呑み屋街）をハシゴし、日が変わるまで親睦を深めた。

▼出席者（敬称略）

〔来賓〕 柴田宏二常務理事
〔会員〕 西谷昭弘、木許健、大

島英明、田村智、飛高彌一郎、之、上鶴武志、伊藤今日子、高野奈津希、西村宏太、藤澤史哉
武石康麿、庭瀬紘太郎
〔その他支部等〕
・大分銀行：廣瀬富喜、脇谷友

（事務局 武石 記）
・豊和銀行：荒木亮介